

田河津地域づくり計画

① た

からを

② こ

うせい
に

③ う

けつぐ
地域

④ づ

くり



平成 27 年 10 月

田 河 津 振 興 会

・・・・・・・・目次・・・・・・・・

1、はじめに	2
2、計画策定の趣旨	3
3、計画の期間	3
4、地域の概要	3
5、地域の課題	6
6、田河津地区の将来像	6
7、分野別の目標	
(1) コミュニティ	7
(2) 安心・安全	8
(3) インフラ	9
(4) 子どもの健全育成・教育	10
(5) 保健・医療・福祉	11
(6) 仕事・働く	12
(7) 文化・歴史・自然・環境	13
8、計画の推進	14
9、資料編	
(1) 田河津振興会委員名簿	15
(2) 田河津振興会理事名簿	16

1 はじめに

この計画書は、田河津振興会がこれからの「協働のまちづくり」を主体的に進めていくための行動計画書を策定したものです。

策定に当たっては、平成 27 年 5 月 26 日に「田河津地域づくり計画策定会議」をスタートしました。

その後、地域住民のアンケート調査や田河津振興会の理事会や計画策定会議を経て地域計画としてまとめたものです。

この計画は、地域の生の声を聞きながら、私たち自身が、地域を見つめ直し、皆さんと話し合いながら、田河津地域がどのような地域であるべきかを考え、地域の課題に取り組むための指針として策定したものです。

今後は、この計画の具現化に向けて、さらなる話し合いを重ねながら、皆さんとともに積極的に活動していきたいと思えます。

平成 27 年 10 月

田河津振興会

会長 岩 渕 松 雄

2 計画策定の趣旨

私たちが住んでいる田河津地区は農畜産業が盛んな地域です。地区内には誘致企業の工業団地があり、そこに勤める人も多くいます。

豊かな自然に恵まれたこの地域は、集落ごとの活動は活発で、花壇づくりや山神社奉納演芸会など、ご近所付き合いを大切にしながら暮らしてきました。

しかしながら近年は、少子高齢化に伴う人口減少が進み、それぞれの生活に潤いや、地域としての活気が失われることが憂慮されます。

このようなことから、私たち自身が、地域を見つめ直し、皆さんと話し合いながら、田河津地区がどのような地域であるべきかを考え、地域の課題に取り組むための指針としてこの計画を策定します。

今後は、この計画の具現化に向けて、さらなる話し合いを重ねながら、皆さんとともに積極的に活動していきます。

3 計画の期間

この計画はおおむね 10 年間の計画とし、諸情勢の変化に伴い、機会をとらえて随時見直しを行います。

4 地域の概要

田河津地区は、一関市東山町の北部に位置し、北に奥州市水沢区、前沢区、西に平泉町と境をなし、東稲山（標高 596m）の裾野に広がっている標高 80 メートル以上の中山間地域です。

郷土の先人は、東山町内をはじめ、東磐井各地に神楽を広めた佐藤金次郎翁がいます。また、特産品は奥州平泉文化の影響を受けた紫雲石硯や東山和紙があります。手作りの紫雲石硯は、書家から「すずり」の一級品と折り紙がつけられています。

史跡は、「菅公夫人の墓」や「源頼朝の墓」などがあり、また、金の採掘を行っていたとされる「藤壺の滝」など、各地に金鉱跡地と伝わる所があります。

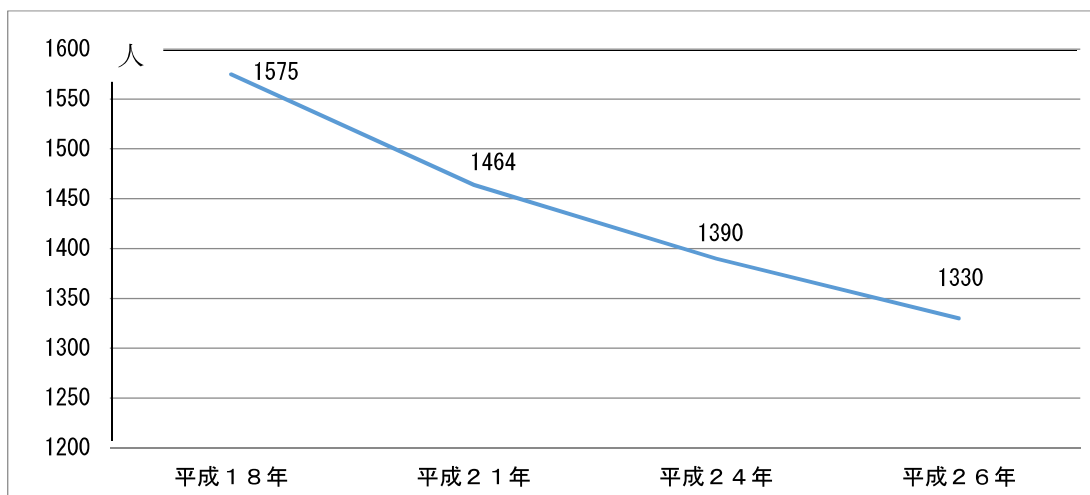
(1) 地区の面積 総面積 39.48 km²

(2) 人口構造

田河津地区は田河津第 1 行政区から第 8 行政区まで 381 世帯、人口 1,315 人（男 660 人、女 655 人、高齢化率 34.3%、少子率 8.9%）で、将来的にも人口の減少傾向が続くことが予想され、少子高齢化率も進んでいます。

(3) 人口の推移

(※各年12月現在)



(4) 行政区別人口

住民基本台帳による世帯数・人口 平成27年4月1日現在

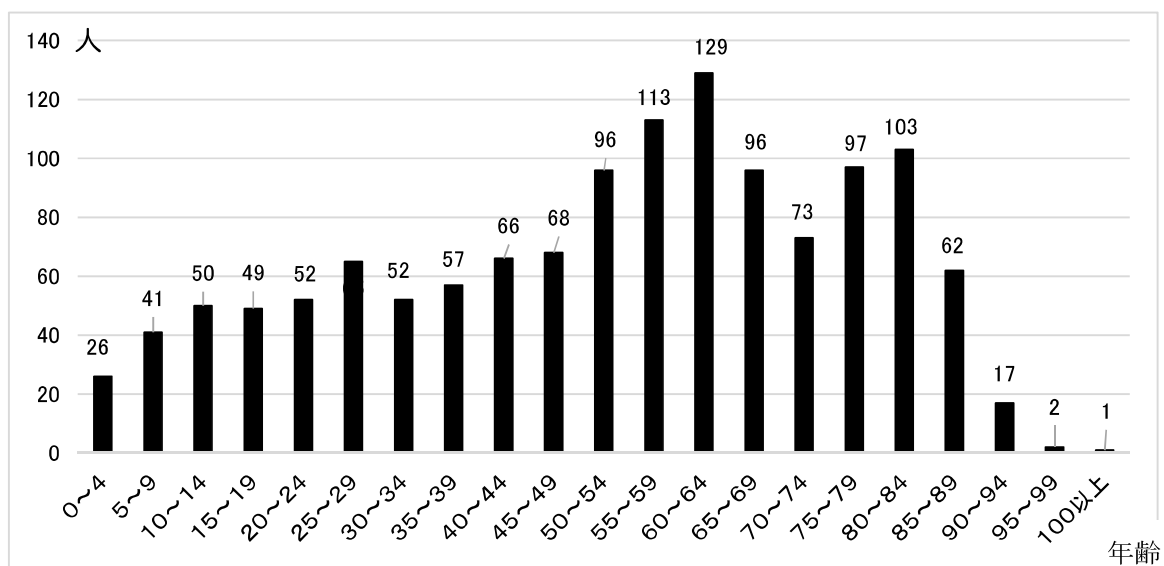
行政区	世帯数 (戸)	人口合 計(人)	55歳以 上合計 (人)	準限界 率	65歳以 上合計 (人)	限界率 (高齢 化率)	14歳以 下合計 (人)	少子率	若年世代 (20~39) (人)	
1区	61	220	112	50.9%	75	34.1%	19	8.6%	41	18.6%
2区	28	91	55	60.4%	35	38.5%	4	4.4%	15	16.5%
3区	39	124	64	51.6%	43	34.7%	14	11.3%	19	15.3%
4区	50	173	90	52.0%	54	31.2%	15	8.7%	28	16.2%
5区	68	223	104	46.6%	77	34.5%	23	10.3%	46	20.6%
6区	52	163	101	62.0%	68	41.7%	9	5.5%	24	14.7%
7区	39	163	77	47.2%	45	27.6%	25	15.3%	26	16.0%
8区	44	158	90	57.0%	54	34.2%	8	5.1%	27	17.1%
合計	381	1315	693	52.7%	451	34.3%	117	8.9%	226	17.2%

※準限界率 (準高齢化率 55歳以上人口が総人口に占める割合)

※限界率 (高齢化率 65歳以上人口が総人口に占める割合)

※少子率 (14歳以下人口が総人口に占める割合)

(5) 田河津地区年齢別人口



(6) 行政区別一人暮らし、二人暮らし世帯数 (平成27年9月1日現在)

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	合計
65歳～74歳までの一人暮らし世帯	2	0	0	4	4	2	0	3	15
75歳以上の一人暮らし世帯	3	1	3	2	5	5	2	1	22
65歳以上のみの二人暮らし世帯	2	3	3	1	7	4	0	2	22
うち75歳以上のみの二人暮らし世帯	1	3	1	1	5	0	0	2	13

(7) 田河津出身児童入学者数

平成25年度 (田河津小学校)	平成26年度 (東山小学校)	平成27年度 (東山小学校)
7	9	8

5 地域の課題

(1) 進む高齢化

高齢化が進み、高齢者の一人暮らし世帯や高齢夫婦世帯が増え、買い物や通院、草刈りなどの日常生活が困難な世帯が増え、地域での見守りや支援が必要となっています。

また、一人暮らしや高齢者世帯では、話し相手がいないことや気軽に集まれる場所が不足するなど、交流の機会が求められています。

(2) 少子化と若者の流失

少子化によって平成 26 年 3 月、田河津小学校が閉校となり、東山小学校に統合され、140 年の長い歴史に幕を閉じました。

地域では、子どもの顔や姿が見えないなど、関わりが少なくなったことから、地域みんなで子どもを守り、育むことがより一層必要となっています。

また、若者については、勤務形態の多様化によって、地域行事への参加が減り、また、出会いの機会が少なく、職場が遠いなど、生活そのものにかかわる重要課題があり、さらに、地元企業に就職する若者も減少しています。

(3) 人口減少

人口減少により、地域や近隣のつながりが希薄になり、自治会組織や地域行事を担う人材も不足しています。

また、働く世代が職場にいる時間帯などが多く、そのために高齢者だけになる日中の防犯防災への備えが求められています。

(4) 小学校跡地の活用

平成 26 年 3 月に閉校した旧田河津小学校跡地について、地区での有効活用を検討する必要があります。

6 田河津地区の将来像

(1) 田河津地区の将来ビジョン

「宝を後世に受け継ぐ地域づくり」

(2) 分野別の目標

田河津地区の将来像実現のため、重点的に取り組む分野別の目標をワークショップやアンケート結果などから 次の7つの分野ごとに分けて、事業に取り組んでいきます。

- (1) コミュニティ
- (2) 安心・安全
- (3) インフラ
- (4) 子どもの健全育成・教育
- (5) 保健・医療・福祉
- (6) 仕事・働く
- (7) 文化・歴史・自然・環境

7 分野別の目標

(1) コミュニティ

区分：○短期—地域で検討しながら 3 年ぐらいで実現を目指すもの

△中期—市と県に協議しながら 7 年ぐらいで実現を目指すもの

□長期—市と地域で連携しながら 10 年を目途に実現を目指すもの

現状・課題	考えられる解決策
■地域コミュニティ ・高齢化により地域行事の存続が難しくなっていることや、若者の地域行事に対する意識の希薄により、行事・会合等の参加が少なく、将来の集落活動が危ぶまれている。	○地域住民による世代間交流の場の拡大と参加者の増加を図る △活力ある住みよい地域づくりを図る ○花いっぱい運動の継続を図る ○役員の輪番制の検討 □先進地事例の研修
■地域婦人会 ・行政区内に婦人会組織がない集落があり、活動に支障をきたしている	○組織の再編の検討 □行政区の婦人会の設置を推進する
■地域若妻会 ・若妻会組織が少ないため、交流の場が限られる	△若妻会など結いの仕組みを推進、交流づくりを図る

(2) 安心・安全

区分：○短期—地域で検討しながら 3 年ぐらいで実現を目指すもの

△中期—市と県に協議しながら 7 年ぐらいで実現を目指すもの

□長期—市と地域で連携しながら 10 年を目途に実現を目指すもの

現状・課題	考えられる解決策
<p>■道路の安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市道・県道等の路面補修や側溝の修繕、支障木の撤去等が必要である ・横断歩道不足、通学路の整備、防犯灯が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> ○道路の点検や改修要望個所の調査の実施 △市（県）と道路補修の協議 □市補助金を活用した自治会活動による道路環境整備の実施
<p>■交通安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全（危険個所がある） ・交通マナーが悪い 	<ul style="list-style-type: none"> ○交通安全対策協議会への参加、協力 △交通安全マップを作成する △危険個所の調査をする ○交通安全指導や指導会を開催する
<p>■自主防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで考える地域防災活動 	<ul style="list-style-type: none"> ○自主防災組織への参加、協力 ○自主防災意識の向上と訓練の実施 △地区の連絡体制を構築する
<p>■防犯対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜道が暗いところがある 	<ul style="list-style-type: none"> △危険個所の確認 □監視カメラの設置について協議 □市補助金を活用した自治会等による防犯灯の設置
<p>■空き家対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内に空き家があり、防犯上不安である 	<ul style="list-style-type: none"> △市と協働で空き地、空き家の調査の実施

(3) インフラ

- 区分：○短期—地域で検討しながら 3 年ぐらいで実現を目指すもの
 △中期—市と県に協議しながら 7 年ぐらいで実現を目指すもの
 □長期—市と地域で連携しながら 10 年を目途に実現を目指すもの

現状・課題	考えられる解決策
<p>■公共交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院等への移動の足が無い人が多い ・バスの本数が少ない ・乗車人数が少ない <p>■スクールバス対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗車、降車場所の安全確保がほしい 	<p>○公共交通のPRと利用促進</p> <p>□福祉有償運送の利用、又は過疎地有償運送の検討</p> <p>△横断歩道の設置について協議</p> <p>△スクールバス停留所の安全対策を検討し協議する</p>
<p>■道路整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凍結路面及び除雪の対策が必要である 	<p>○現地調査（情報収集）の実施</p> <p>□市と道路整備事業の協議</p> <p>○市民による融雪剤散布や歩道等の除雪の実施（協力）</p>
<p>■通信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネット環境が整っていない ・光通信が未整備である 	<p>□市及び電気通信事業者への整備について協議</p> <p>△利用希望者の実態調査</p>
<p>■上下水道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道が整備されていない 	<p>○要望調査の実施</p> <p>△合併浄化槽の市補助金の周知</p> <p>△施設整備に向け全戸加入承諾を得て市と協議する</p>

(4) 子どもの健全育成・教育

区分：○短期—地域で検討しながら 3 年ぐらいで実現を目指すもの

△中期—市と県に協議しながら 7 年ぐらいで実現を目指すもの

□長期—市と地域で連携しながら 10 年を目途に実現を目指すもの

現状・課題	考えられる解決策
<p>■安全な通学対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生の登下校時の安全対策が必要である <p>■子どもの安全</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもを事件や事故から守りたい 	<ul style="list-style-type: none"> ○スクールガードナー等ボランティアを導入し地域で見守る ○注意喚起表示の検討、「学童注意」「スクールバス停留所」等標識看板の検討、設置 ○地区内の防災マップを活用する ○地域全体で見守り活動を行う
<p>■子どもの健全育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども同士の交流が少ない 子ども同士で遊べる環境や機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> □子どもたちが様々な体験が出来る居場所を設置し、地域の人材を活かして、子どもたちがすこやかにたくましく生きる力を育む ○東山森林愛護少年団の育成を図る ○地域ごとの子ども会行事では、子どもの人数が少ないので、子ども会同士の連携を図る □地域行事への参加を奨励し、地域のつながりを育む □青少年健全育成を図る
<p>■保育</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童館の預かり時間が短い 	<ul style="list-style-type: none"> □保育時間の延長について関係機関と協議する
<p>■少子化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが少ない 独身者が多い 	<ul style="list-style-type: none"> □地域の若年層と連携し、継続的に婚活事業などを開催する □イベントなど通じて魅力ある地域活動を推進し、担い手となる若年層の減少、参加者不足の解消を図る。

(5) 保健・医療・福祉

区分：○短期—地域で検討しながら 3 年ぐらいで実現を目指すもの

△中期—市と県に協議しながら 7 年ぐらいで実現を目指すもの

□長期—市と地域で連携しながら 10 年を目途に実現を目指すもの

現状・課題	考えられる解決策
<p>■保健活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気な生活を送れるように、健康相談や日ごろの健康づくりに努めていく必要がある。 <p>■健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活環境や食生活の変化により生活習慣病も増えてきていることから、健康診査の受診等の呼びかけを行い、受診率の向上に努めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> △健康診査の受診率 100%を目指す □月 1 回の高齢者の健康相談（市民センターへの出前保健指導を検討） ○高齢者いきいきサロンを各行政区に設置する ○健康づくり <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり教室を開催 ・病気予防講習や健康相談 ・保健推進員との連携 ・人間ドッグ受診率の向上 ○他事業との組み合わせ、保健師の保健指導の推進
<p>■高齢者の見守り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の生きがい対策が必要である ・一人暮らし世帯の見守り活動が必要である 	<ul style="list-style-type: none"> ○安否確認の仕組みを作る △いきいきサロンの活用 △高齢者（独居老人）への地域での支援体制を作る ○野菜作りなど、出来ることで応援、交流の場を作る

(6) 仕事・働く

区分：○短期—地域で検討しながら 3 年ぐらいで実現を目指すもの

△中期—市と県に協議しながら 7 年ぐらいで実現を目指すもの

□長期—市と地域で連携しながら 10 年を目途に実現を目指すもの

現状・課題	考えられる解決策
<p>■仕事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の誘致の拡大 ・多様な勤務形態への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ○地元企業の見学会と懇談会を開催する □地元企業への就職斡旋を行う ○子育て環境が整備されている会社の事例を学ぶ □誘致企業や新たな産業で働く場を拡大する
<p>■ハローワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田河津版ハローワークをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民センターに就職情報を掲示する ○インターネットでの情報収集について周知する

(7) 文化・歴史・自然・環境

区分：○短期—地域で検討しながら 3 年ぐらいで実現を目指すもの

△中期—市と県に協議しながら 7 年ぐらいで実現を目指すもの

□長期—市と地域で連携しながら 10 年を目途に実現を目指すもの

現状・課題	考えられる解決策
<p>■環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然豊かで四季折々の景観に恵まれている ・ホテル等の自然保護活動の推進 ・有害鳥獣が増加している 	<ul style="list-style-type: none"> ○花いっぱい運動の継続 ○点在している様々な地域財産を整理しマップ及び掲示板を作る。 □自然（山、川、池など）を保全し、活用する □有害鳥獣駆除対策の実施
<p>■環境衛生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ拾い等の清掃活動を実施して環境衛生に努めているが、ごみの不法投棄・ポイ捨てがあり、地域の環境・景観が損なわれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○モラル向上の注意看板を設置 ○ポイ捨て禁止看板を設置 ○自治会による地域総参加での清掃活動を行う
<p>■田河津の歴史・文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化が栄え多くの偉人、賢人を輩出した歴史がある ・田河津地域持ち回り「山神社奉納演芸会」がある ・行事が多すぎる ・参加できる行事がほしい ・伝統的な芸能や工芸の伝承（神楽、紫雲石硯、東山和紙など） ・「菅原道真公夫人の墓」のPR ・東稲山の美化運動（桜の保存、育成） ・旧田河津小学校にある昔の農具の保存が必要である 	<ul style="list-style-type: none"> □集落伝統行事の伝承をする □田河津地区の魅力を発信し交流の輪を広げる ○田河津の歴史を学ぶ ○田河津地区内で行われている様々な行事など情報を共有する △地域の文化伝統の保存、伝承事業の推進 △言い伝えなどをまとめ冊子を作る □横沢地区の神楽の伝承事業 □史跡などを整備して、観光地化を目指す □ミニ博物館を検討する

8 計画の推進

この計画は、田河津地区の将来像の実現に向けて分野別の目標を定め、その課題と解決策の方向を体系的に整理し明らかにしたものです。

具体的な事業展開にあたっては、行政や自治会、各種団体等の既存の団体等とも緊密な連携をとり、適切な役割分担をしながら取り組んでいくものとします。また、この計画は、田河津地区民共有のものとし地区民の主体的な参加と協力をいただきながら推進しようとするものです。

田河津地域づくり計画書

〒029-0301

岩手県一関市東山町田河津字石ノ森2-3

田河津振興会

TEL 0191(47)2349〈FAX兼用〉